

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

京丹波町立和知中学校(京都府)【指定校】

## 【取組内容】 授業実践の交流を通して、情報活用能力の育成に関わる意識の共有

本校では、まずはやってみて修正をしていく方法で実践を行ってきた。自立した学習者の育成に向けて「個別最適な学び」を実践し交流する中で、学びを子どもに委ねるためには、情報活用能力や自己調整能力の育成が必要であるという認識を教職員全体で共有することができた。具体的な方法論のアップデートも必要であるが、授業観や生徒観といった「観」のアップデートも合わせて学校全体で行っていく必要がある。

## 教科書の構造を教える

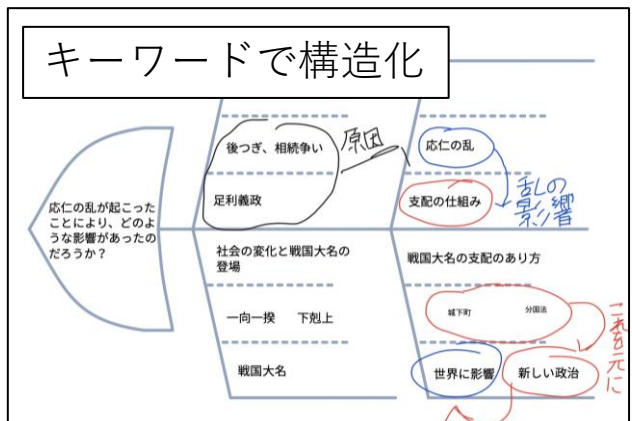


## 考え方の明示的指導

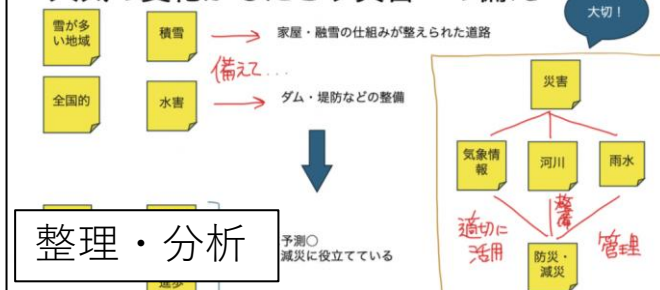
**考えを「深める」カテゴリ**

|                                                                                             |                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>同じようにする</b><br>すでに学んだアイデアや結論などを似ている場面で使う。<br>「～と同じように考えようかな」<br>「これまでに同じように考えたことがあるかな」   | <b>さかのぼる</b><br>事こうとする解答や結論から逆をたどり、それを導く前の段階を明らかにする。<br>「何がわかれば～を導けるかな」<br>「～を導けるのはどんなときかな」 |
| <b>改善する</b><br>不十分な正答や誤答を見直し、問題解決に向かう。<br>「もっとわかりやすい説明にできないかな」<br>「～は正しいと言えるかな」             | <b>条件を変える</b><br>問題の一部分を変更して新たな問題を見つける。<br>「～を…にかえたら結果はどうなるかな」<br>「～を…にかえても成り立つかな」          |
| <b>きまりを見つける</b><br>いくつかの個別・具体的場合から、常に成り立つことを予想する。<br>「～からどんなことがわかるかな」<br>「～にどんなきまりがあるだろうかな」 | <b>整理する</b><br>考える対象をある目的のために整える。<br>「どのような場合があるか整理してみよう」<br>「どのように整理すればわかりやすくなるかな」         |
| <b>逆をつくる</b><br>命題の逆をつくり、考察の順番を入れかえたりして考える。<br>「～と～を入れかえたらどうなるかな」<br>「逆に、～することができるかな」       | <b>広げる</b><br>考える対象の範囲を広げる。<br>「～を…まで広げたらどうなるかな」<br>「～は…でも同じように成り立つかな」                      |
| <b>比べる</b><br>複数の対象の共通する点や異なる点に目を向ける。<br>「～と～を比べるとどんなことがわかるかな」<br>「どちらの方が～かな」               | <b>学んだ形にする</b><br>新しく学ぼうとする内容をすでに学んだことに結びつける。<br>「～の形にできないかな」<br>「どんな形なら解くことができるだろう」        |

## キーワードで構造化



## 天気の変化がもたらす災害への備え



## 興味を持ち選んだ段を、伝わりやすく、わかりやすく紹介しよう。

クラスの仲間に紹介する資料のポイント

- を利用。カードで作成。
- 文章、図、矢印、写真等、まとめる方法は自由。
- 箇条書きがわかるように…
- 内容がわかるように…
- その段で作者が伝えたいことを…
- ・ そういえる根拠(理由)を本文や登場人物の言動から説明する。
- 自分の知識や経験と結びつけて、自分の考え意見を説明する。
- ・ わたしも～のとき～なことがあって～でした。だから～と思う、考える、いえる。
- ・ ぼくの(聞いた話でもいい)～で～した人がいました。同じように～。
- ・ 現代でも～のようなことがあります。だから～と思う、考える、いえる。
- ・ 現代でなら～のようなことはありえない。もしあったら～ことになるだろう。

※クラスの仲間の資料を

○その段から考えられる、作者はどんな人か、ものの

・～や～のことから～ということが出来る。

・～は～で～な人物である。

等

から参考にしていい。

## 資料作成の指導

紹介の中に  
入れてほしいこと!  
(下線部)